2021年3月期第2四半期
決算説明会

2020年12月3日
三菱ロジスネクスト株式会社

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

2021年3月期第2四半期
決算概要

三菱ロジスネクスト株式会社
代表取締役社長　久保　隆

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

1　決算概況

Logisnext

市場環境

- 世界経済は、いち早く経済活動を平時に戻した中国を始め、欧米でのロックダウン解除、アジア圏での規制緩和により、ヒト・モノ・カネがようやく動き始め、徐々に回復傾向にあった。
- しかし、欧州でのロックダウンの再実施など新型コロナウイルス感染拡大の第二波が懸念され予断を許さない状況にあると共に、米中貿易摩擦などの経済の不安定要素が残っていることから、世界各国で投資活動への慎重な対応が続く。
- 物流機器市場においては6月以降の各国の経済活動再開の動きにより市場にやや上向き傾向が見られたものの、力強い回復基調には至らず、今後も市場動向に予断を許さない状況が続く。

連結業績概要

- 売上高は、米州のEquipment Depot, Inc.（以下、「EQD社」）の新規連結が寄与したものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞影響により、前年比△10.4%の減収。
- 営業利益は、労務費など固定費削減の取り組みを進めたものの、売上高の減少による粗利減をカバーしきれず、前年比△53.7%の減益（のれん等償却前）。

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

2　決算ハイライト

Logisnext

（単位：億円）

損益計算書	2019年9月期	2020年9月期	前年同期比増減	
売上高	2,070.9	**1,854.6**	**△216.3**	**△10.4%**
営業利益（のれん等償却前） （営業利益率）	93.7 （4.5%）	**43.4** **（2.3%）**	**△50.3**	**△53.7%**
のれん等償却	42.7	**48.0**※	**―**	**―**
営業利益 （営業利益率）	50.9 （2.5%）	**△4.6** **（△0.2%）**	**―**	**―**
経常利益 （経常利益率）	47.9 （2.3%）	**△7.0** **（△0.4%）**	**―**	**―**
親会社株主に帰属する当期純利益 （当期純利益率）	20.9 （1.0%）	**△19.6** **（△1.1%）**	**―**	**―**

貸借対照表	2020年3月期	2020年9月期	前年度末比増減	
総資産	3,736	**3,493**	**△243**	**△6.5%**
総負債	3,163	**2,961**	**△202**	**△6.4%**
純資産	573	**533**	**△40**	**△7.0%**

※のれん等償却はEQD社買収に係るのれんの償却により増加
（前年同期はEQD社のP/Lは未連結）

2019年9月期実績レート：USD＝108.63円　EUR＝128.41円　CNY＝16.54円
2020年3月期実績レート：USD＝108.74円　EUR＝120.82円　CNY＝15.60円
2020年9月期実績レート：USD＝106.92円　EUR＝121.30円　CNY＝15.26円

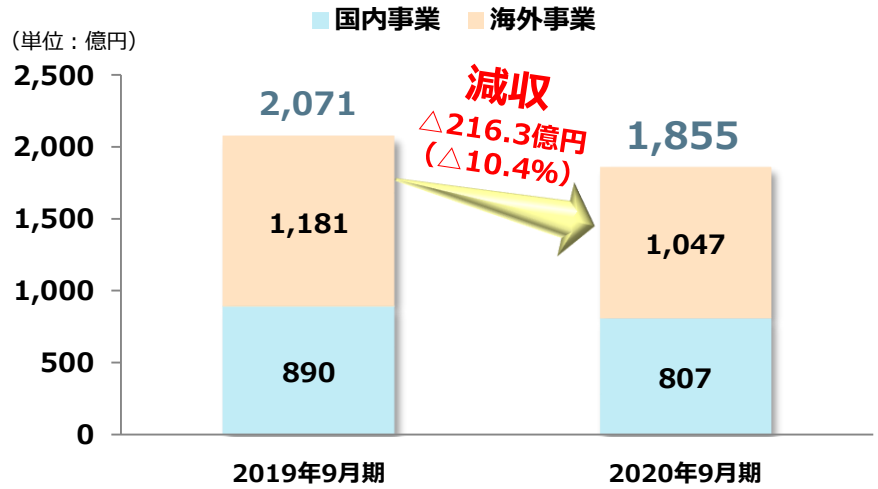
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

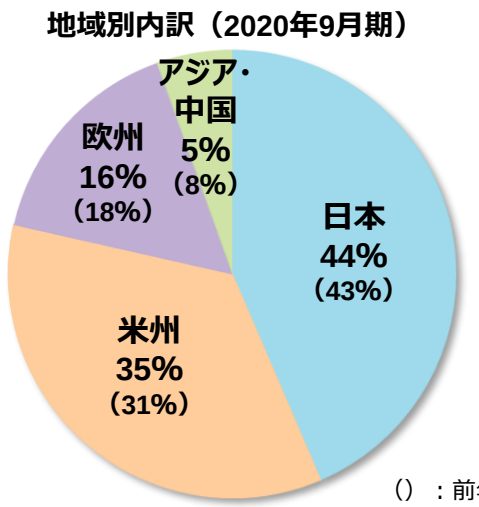
3　セグメント別業績

Logisnext

売上高：国内は約△9%減、海外はコロナ渦での経済活動停滞が響き、米州、欧州、アジアを中心に2桁減収。

売上高

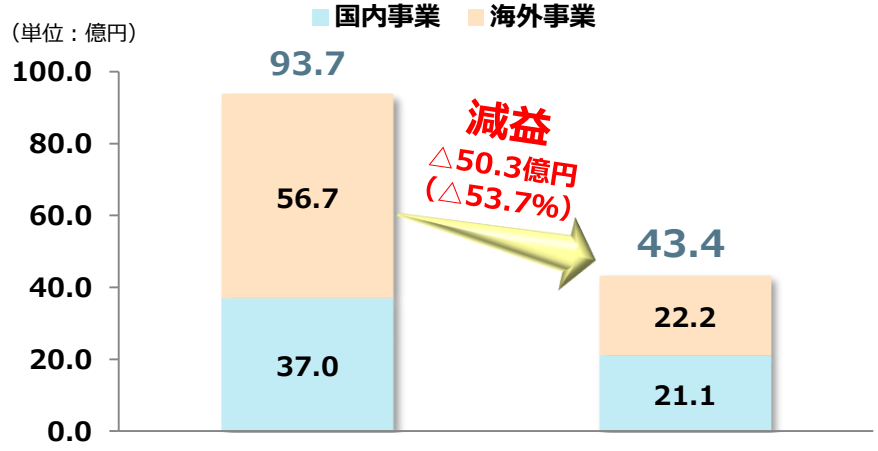


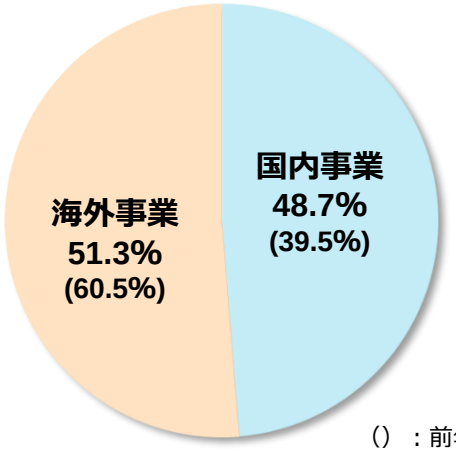


（）：前年実績

営業利益(※1)：全地域で固定費削減を進めるも、日本、米州、欧州での売上減が大きく響き減益。

営業利益(※1)





（）：前年実績

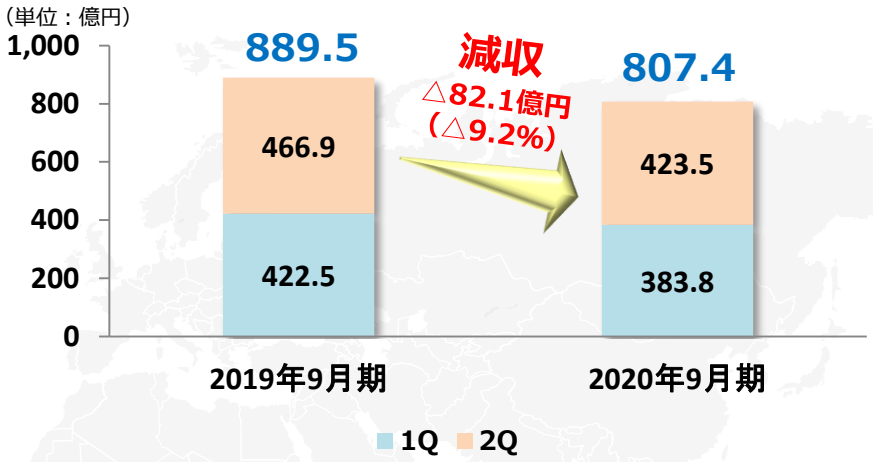
※1：のれん等償却前営業利益

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

4　地域別売上高（為替影響含む）

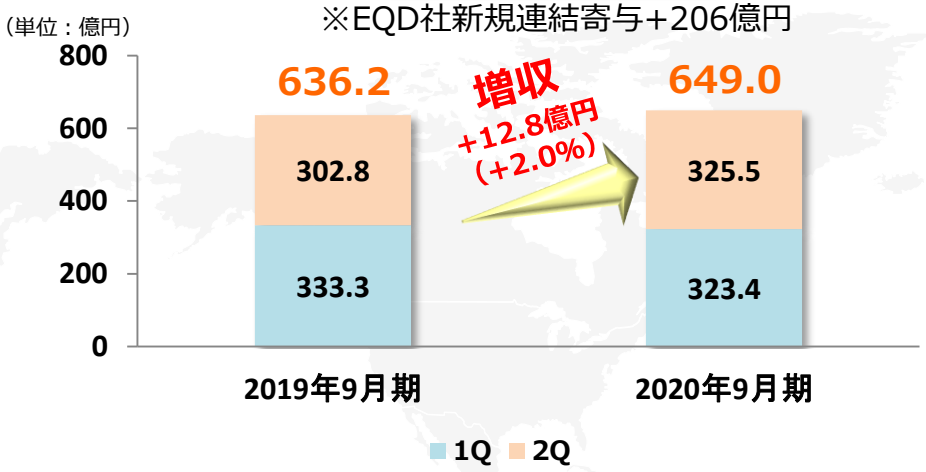
Logisnext

日本

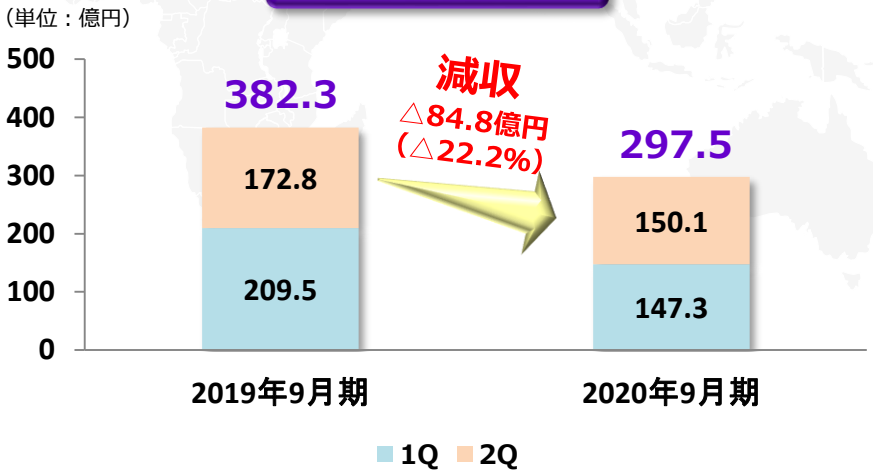


米州

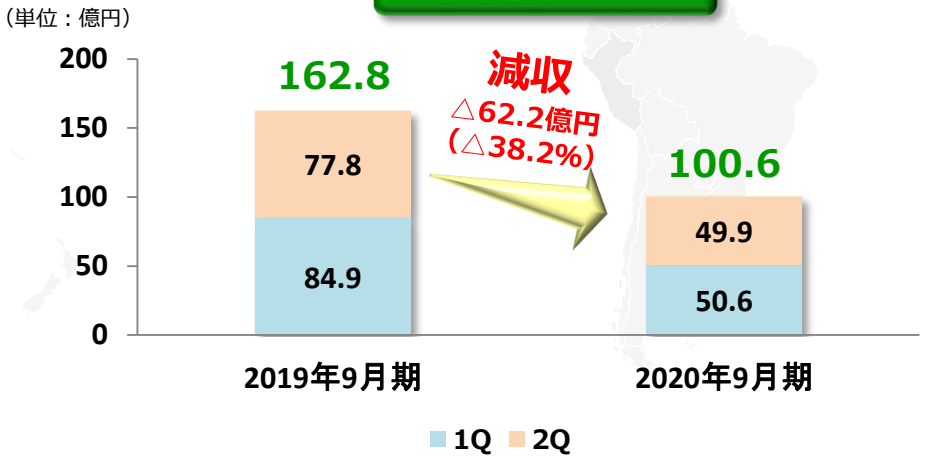
※EQD社新規連結寄与+206億円



欧州



アジア・中国



（）：前年比

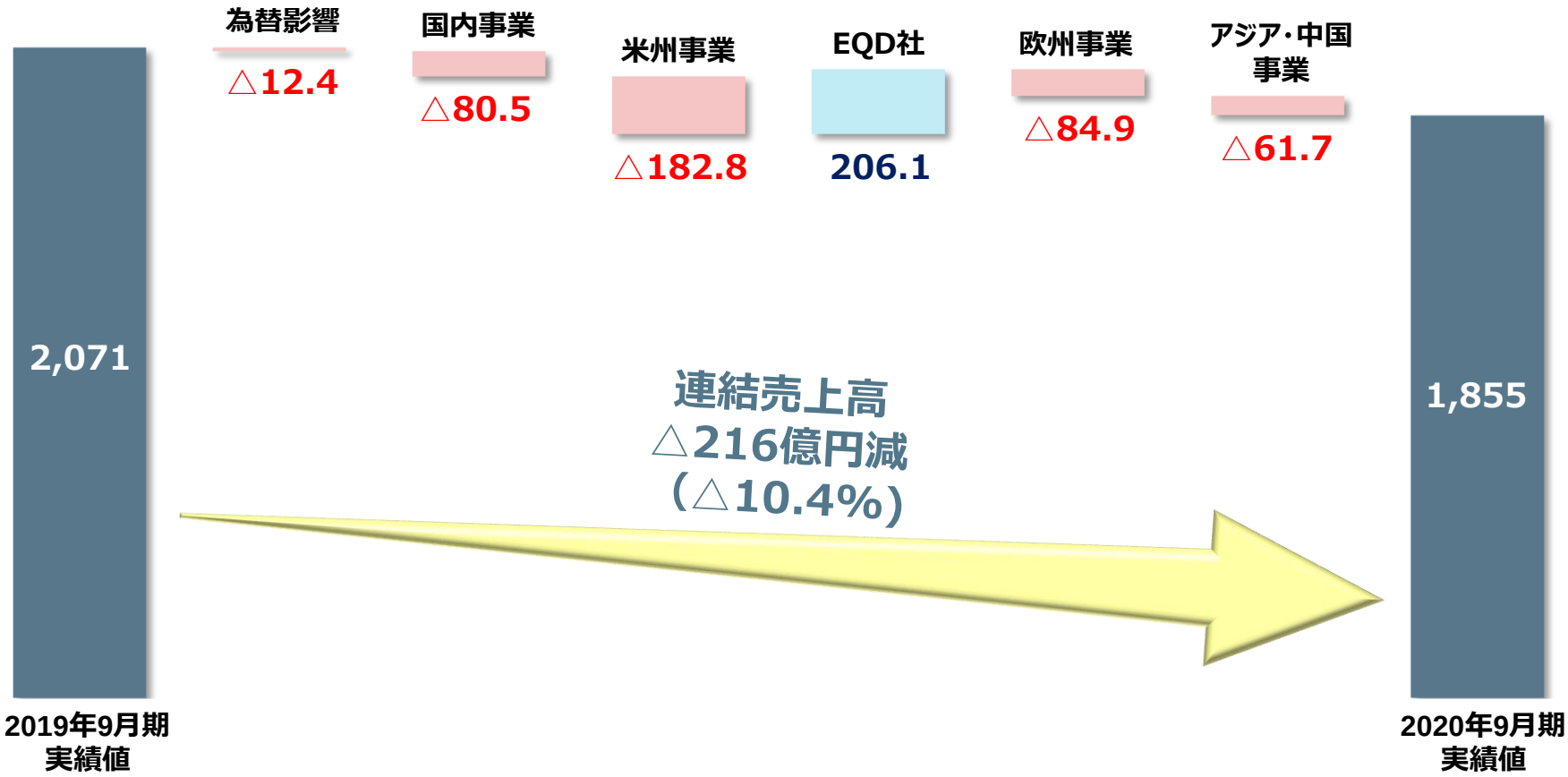
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

5　上期売上高増減要因（前年同期実績対比）

Logisnext

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞が響き、
全地域で販売台数が減少、前年比で△10.4%の減収。
※ EQD社連結影響を控除すると△20.4%の減収。

（単位：億円）



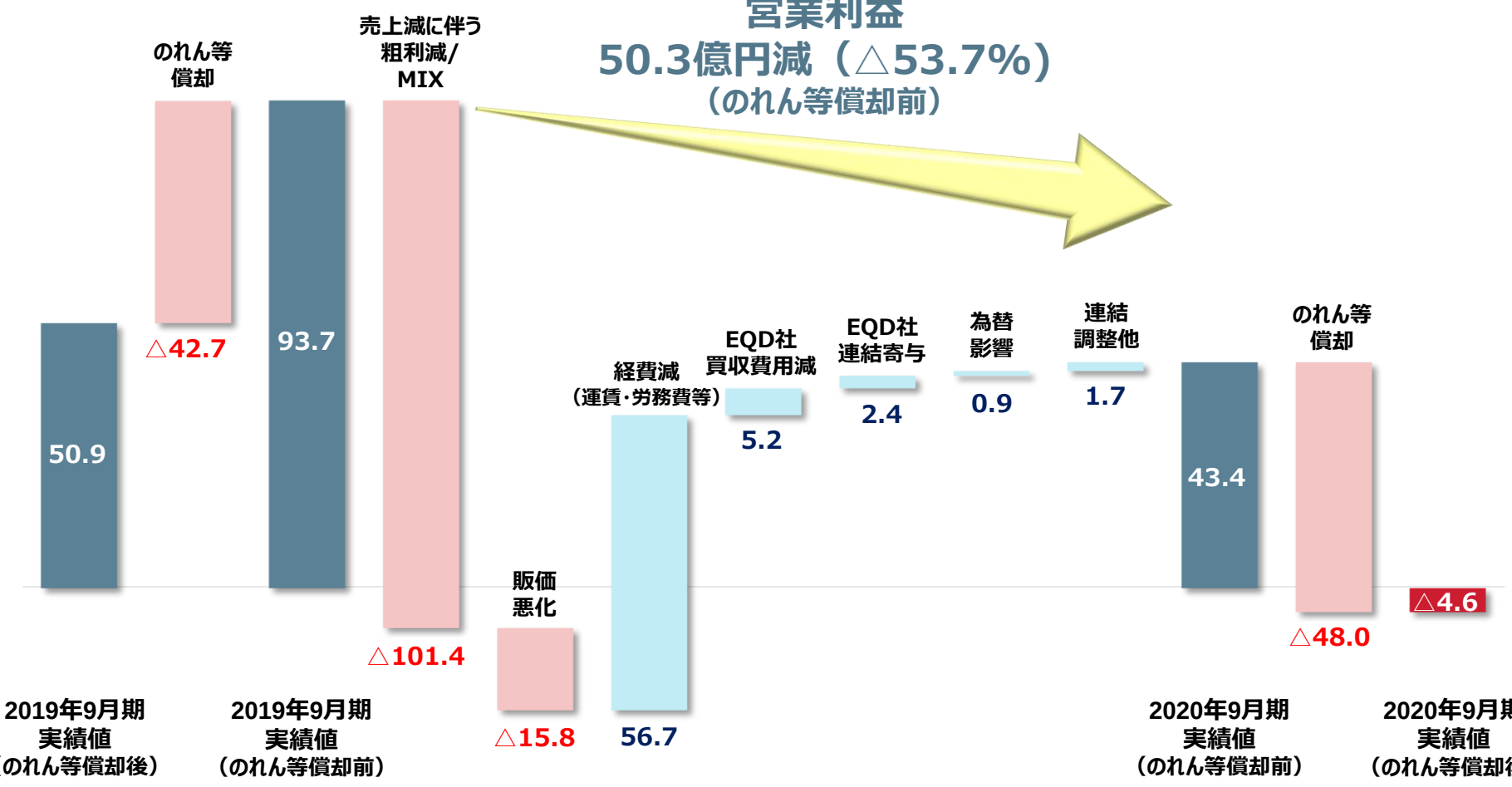
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

6　上期営業利益増減要因（前年同期実績対比）

Logisnext

営業利益は、売上減に伴う粗利減を、労務費など固定費削減の取り組みでは補いきれず、前年比△53.7%の減益。

（単位：億円）



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

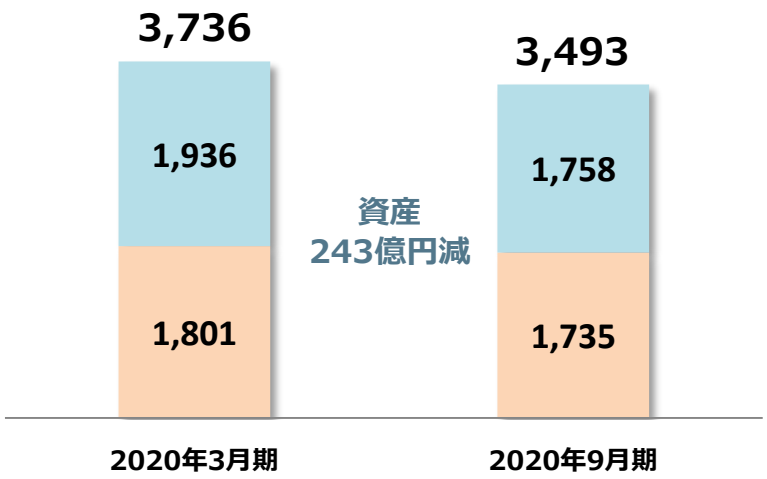
7　連結貸借対照表

Logisnext

売上減に伴う売掛金・買掛金等運転資本の減少により、総資産・負債は減少。

（単位：億円）

資産

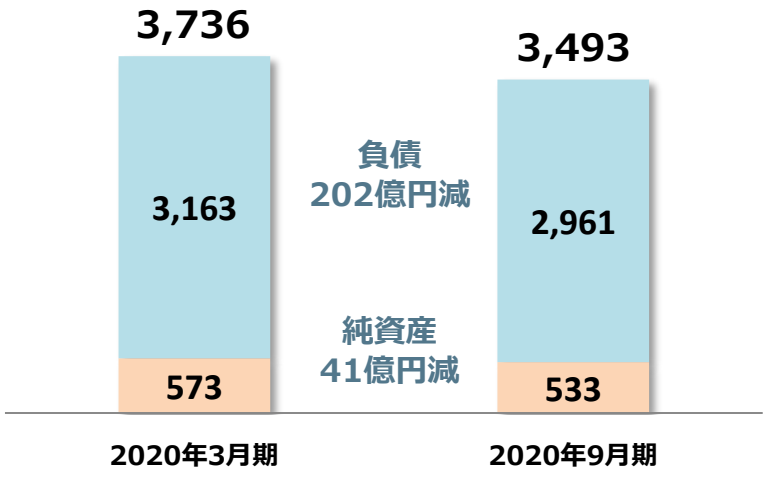


項目	2020年3月期	2020年9月期	増減
流動資産	1,936	1,758	△ 178
（有形固定資産）	1,014	977	△ 37
（無形固定資産）	632	585	△ 47
（投資その他）	154	173	+19
固定資産計	1,801	1,735	△ 65
資産合計	3,736	3,493	△ 243

流動資産：減
売上減による売掛債権等の減少

固定資産：減
のれんの償却による減少

負債／純資産



項目	2020年3月期	2020年9月期	増減
流動負債	1,544	1,361	△ 184
固定負債	1,619	1,600	△ 19
負債合計	3,163	2,961	△ 202
純資産計	573	533	△ 41
負債・純資産合計	3,736	3,493	△ 243

負債：減
買掛債務及び短期借入金の減少

純資産：減
当期純損失、支払配当金による剰余金減等

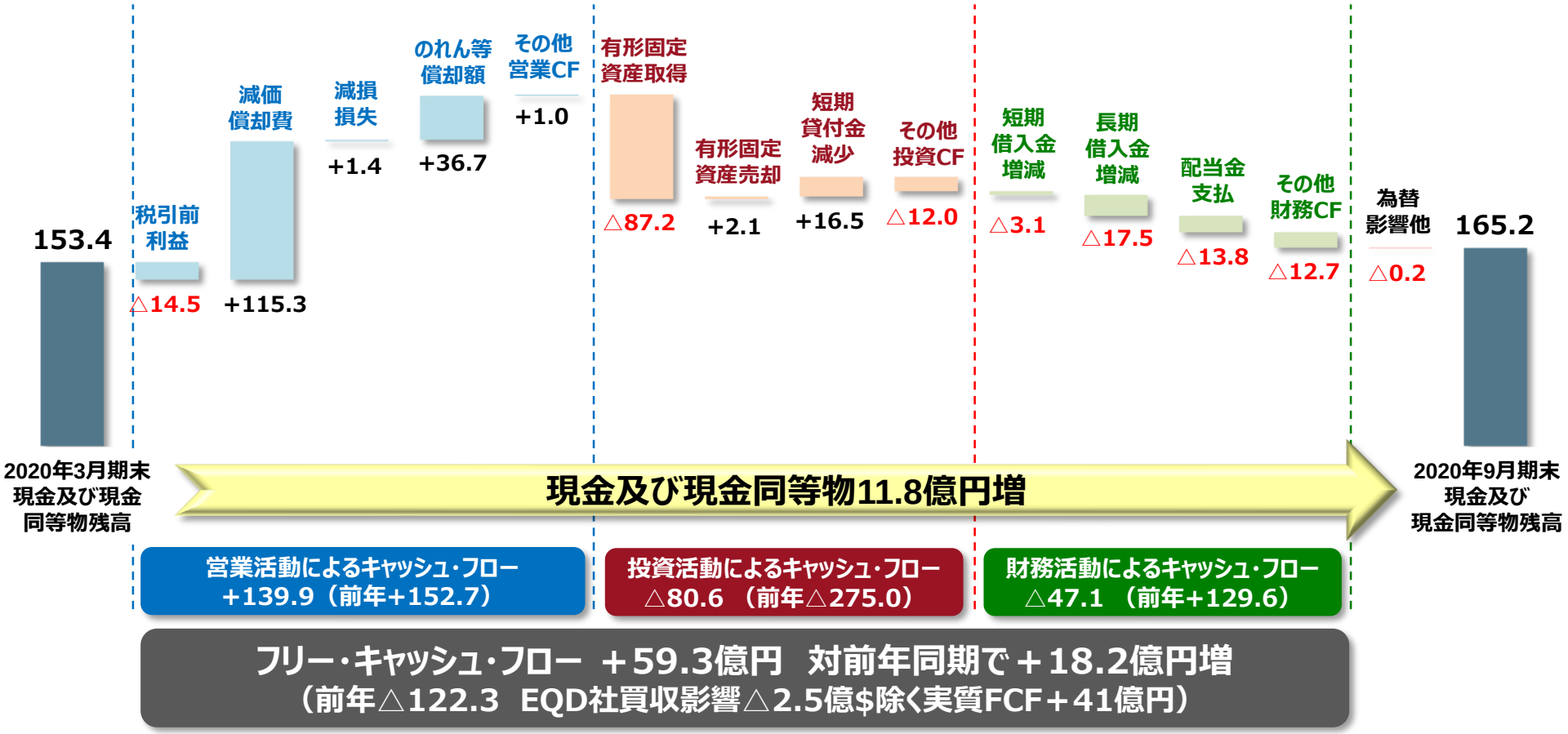
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

8　キャッシュフローの状況

Logisnext

営業C/Fは△12.8億円減少（前年同期153億円）。コロナ渦による収益減が響く。
フリーC/Fは設備投資の節減・繰延が寄与し実質＋18.2億円の増加（前年同期EQD社買収影響控除後＋41億円）。

（単位：億円）



フリー・キャッシュ・フロー ＋59.3億円 対前年同期で＋18.2億円増
（前年△122.3 EQD社買収影響△2.5億$除く実質FCF＋41億円）

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

9　2021年3月期通期業績見通し

Logisnext

（単位：億円）

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比増減	
販売台数	103千台	**83千台**	**△20千台**	**△19.4%**
売上高	4,489.2	**3,900.0**	**△589.2**	**△13.1%**
営業利益（のれん等償却前） （営業利益率）	183.3 （4.1%）	**70.0** **（1.8%）**	**△113.3**	**△61.8%**
のれん等償却	98.9	**90.0**	**－**	**－**
営業利益 （営業利益率）	84.4 （1.9%）	**△20.0** **（△0.5%）**	**－**	**－**
経常利益 （経常利益率）	70.5 （1.6%）	**△25.0** **（△0.6%）**	**－**	**－**
親会社株主に帰属する当期純利益 （当期純利益率）	△52.4 （△1.2%）	**△40.0** **（△1.0%）**	**－**	**－**
1株あたり配当	13円	**8円**	**－**	**－**

2020年度計画レート：USD=105円　EUR=120円　CNY=16円

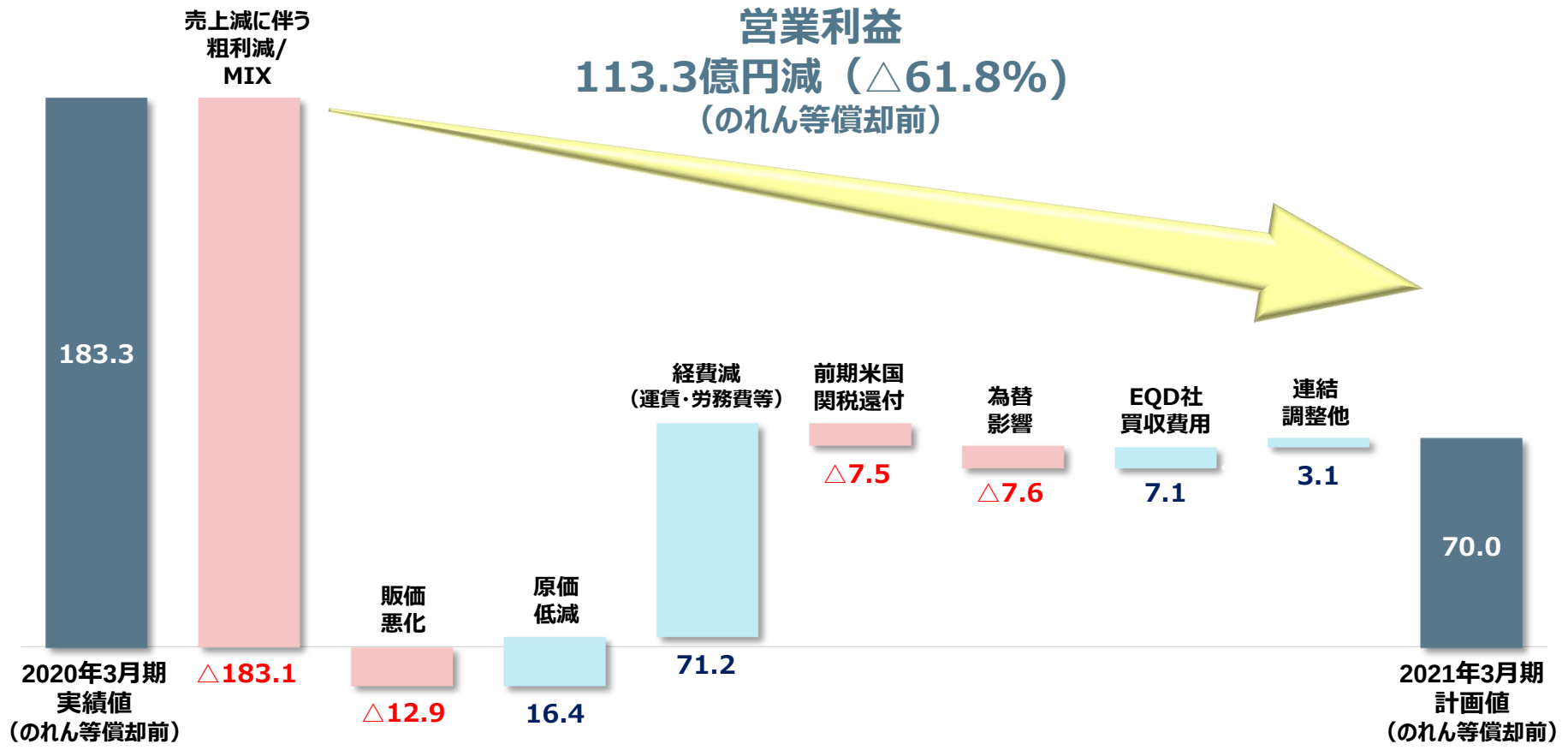
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

１０　通期営業利益増減要因（前年実績対比）

Logisnext

営業利益は、売上減に伴う粗利減を、運賃減や労務費等固定費削減では補いきれないと予想し、前年比△61.8%の減益となる見込み。

（単位：億円）



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

【参考資料】主な経営指標

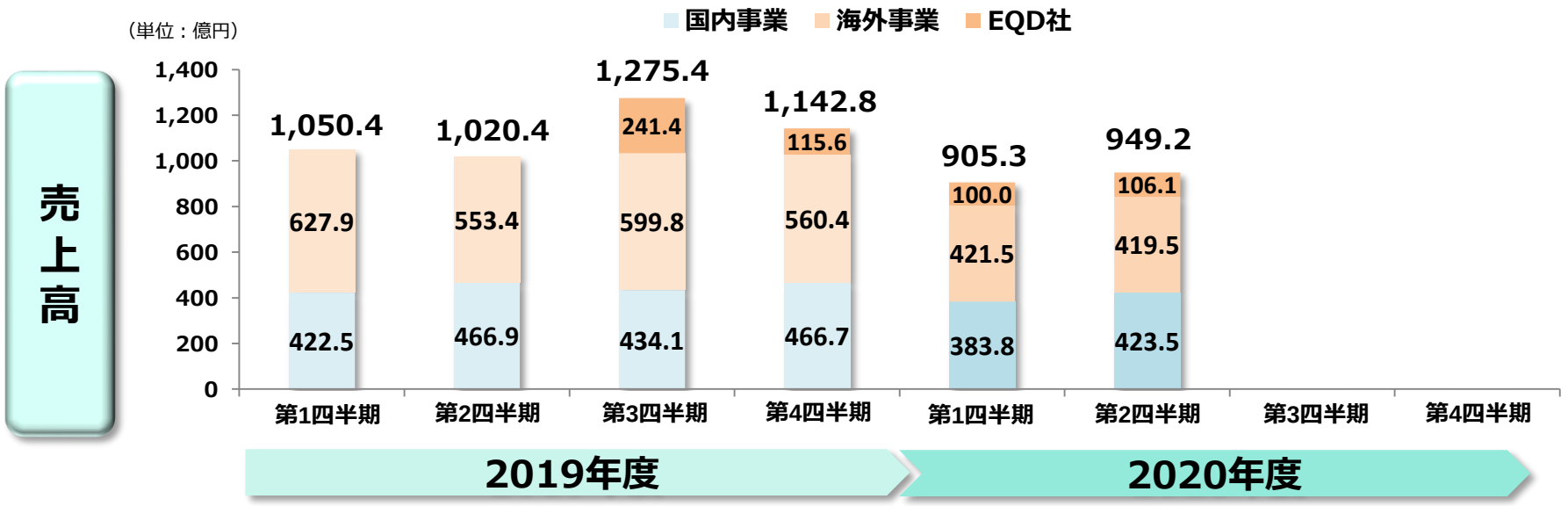
Logisnext

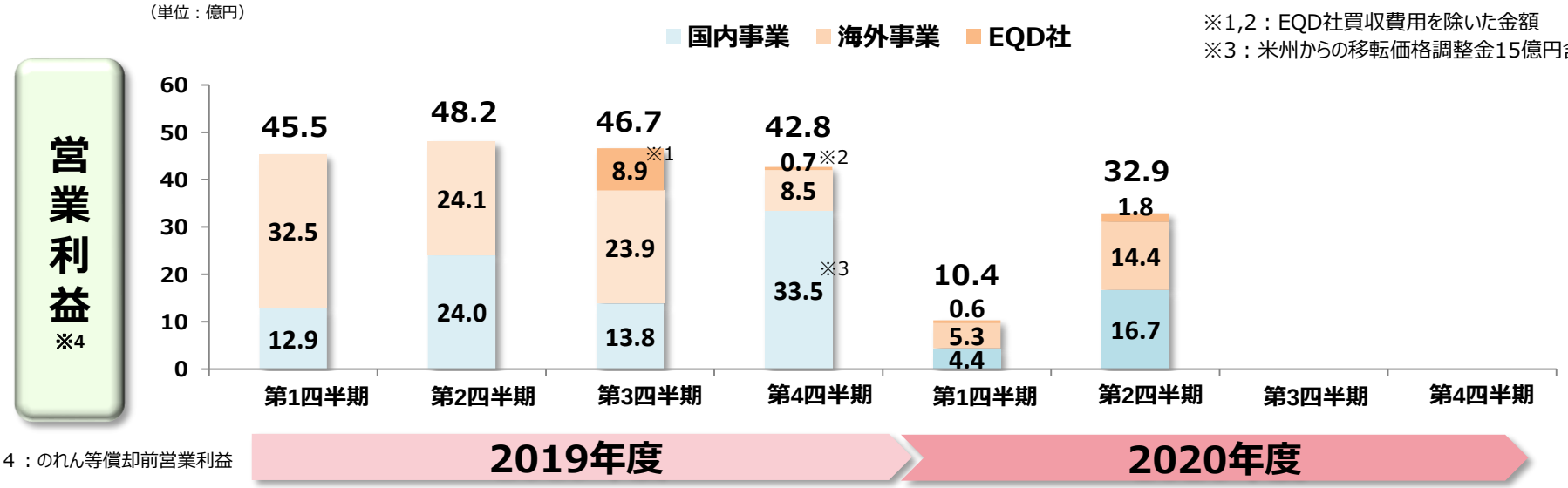
	指標	算式	2020年3月期	2020年3月期（のれん償却前）	2020年9月期	2020年9月期（のれん償却前）	コメント
総合	総資本利益率（ROA）	当期純利益 / 総資本	△ 1.4%	(2.8%)	**△ 1.1%**	**(1.3%)**	新型コロナウイル感染拡大により業績が悪化し、当期純損失となったことで数値が悪化。
総合	自己資本利益率（ROE）	当期純利益 / 自己資本	△ 8.7%	(12.2%)	**△ 7.4%**	**(5.8%)**	
収益性	売上高営業利益率	営業利益 / 売上高	1.9%	(4.1%)	**△ 0.2%**	**(2.3%)**	新型コロナウイル感染拡大により業績が悪化し、当期純損失となったことで数値が悪化。
収益性	売上高当期利益率	当期純利益 / 売上高	△ 1.2%	(2.5%)	**△ 1.1%**	**(1.5%)**	
効率性	総資本回転率	売上高 / 総資本	1.2回		**1.0回**		
効率性	売上債権回転率	売上高 / 売上債権	5.8回		**5.4回**		
効率性	棚卸資産回転率	売上原価 / 棚卸資産	5.5回		**4.6回**		
安全性	自己資本比率	自己資本 / 総資本	14.7%		**14.6%**		当期純損失と配当金支払いによる利益剰余金の減少に伴い、自己資本比率は悪化するが、総資産の減少により僅かの悪化に留まった。
安全性	D/Eレシオ	有利子負債 / 株主資本	3.3倍		**3.6倍**		
株主関連	1株あたり利益	当期純利益 / 発行済株式数	△49.24円		**△36.86円**		
株主関連	株価収益率（PER）	株価 / 1株あたり利益	△17.7倍		**△25.8倍**		株価： 2020年3月期末：874円 2020年9月期末：951円
株主関連	株価純資産倍率（PBR）	株価 / 1株あたり純資産	1.7倍		**2.0倍**		

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

【参考資料】四半期推移

Logisnext





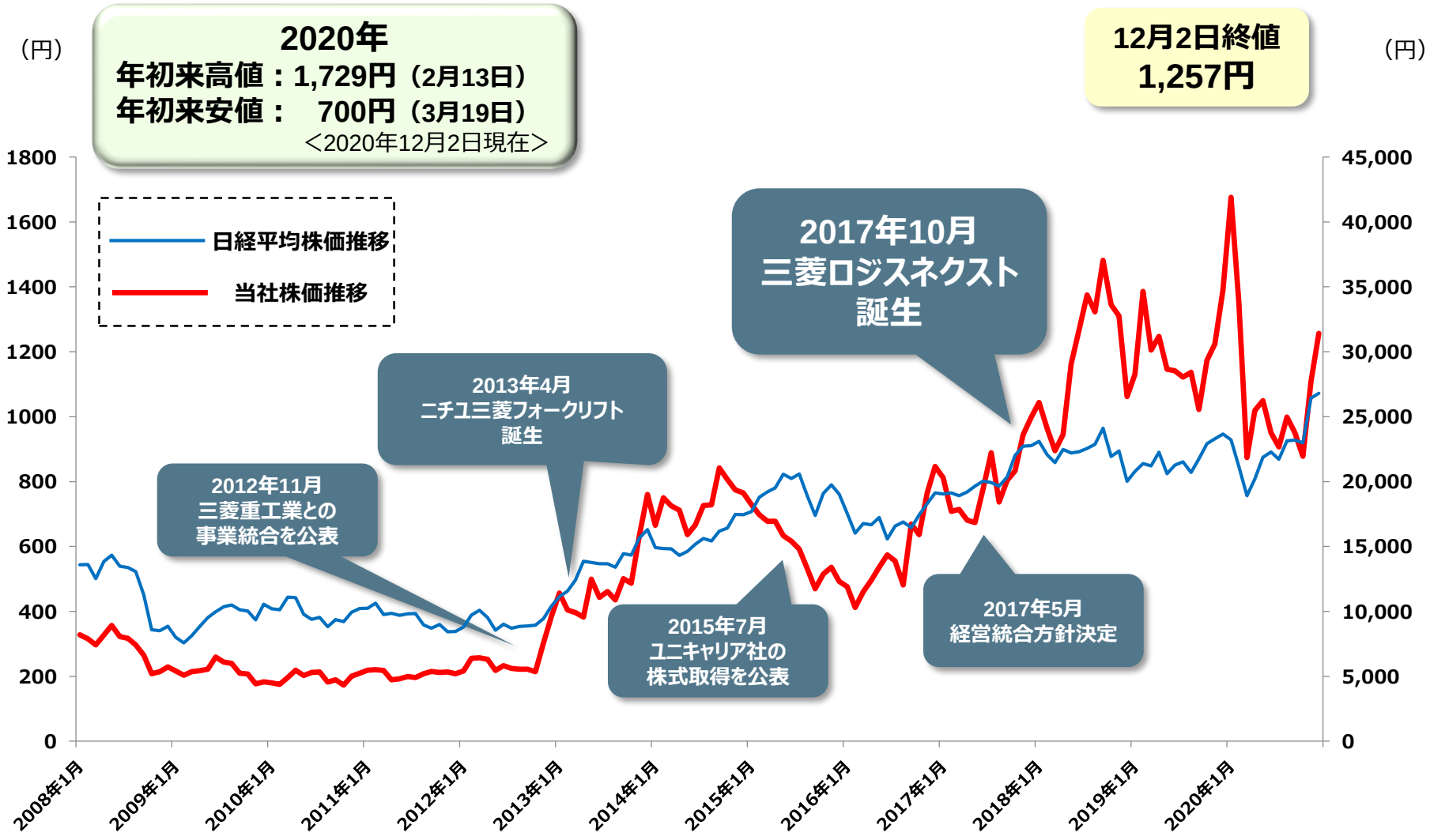
※1,2：EQD社買収費用を除いた金額
※3：米州からの移転価格調整金15億円含む

※４：のれん等償却前営業利益

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

【参考資料】株価の推移

Logisnext



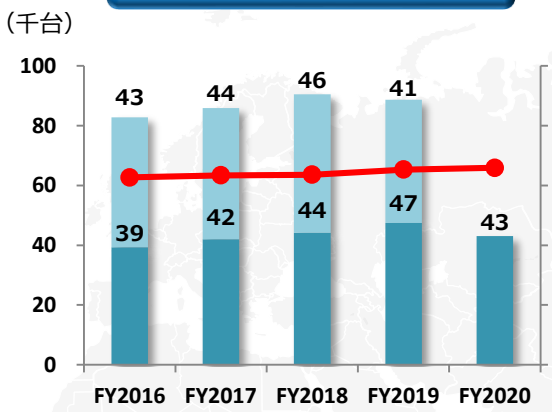
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

【参考資料】フォークリフト市場動向【出荷】（4月～9月）

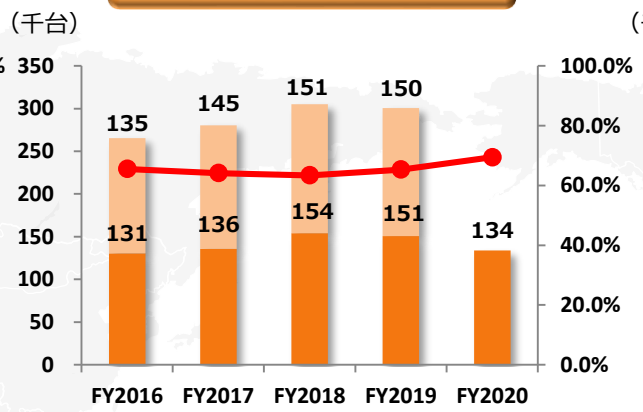
Logisnext

2020年度2Q迄のフォークリト市場は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞影響があったものの、好調な中国市場の牽引により出荷台数は前年比+6.4%の792千台。
中国を除いた出荷台数は前年比△13.7%の445千台。

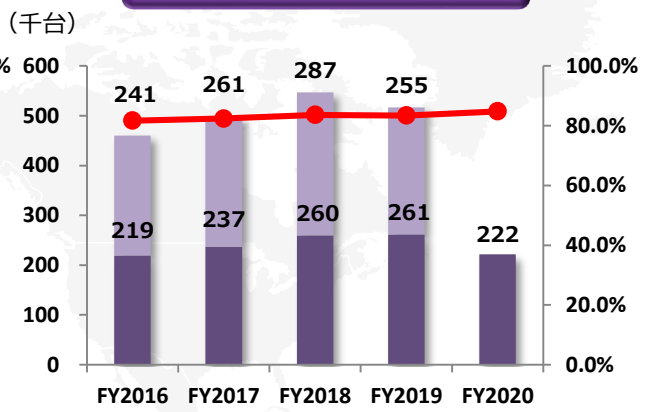
日本



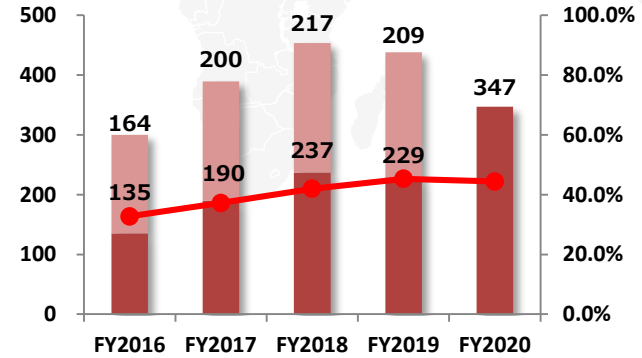
米州

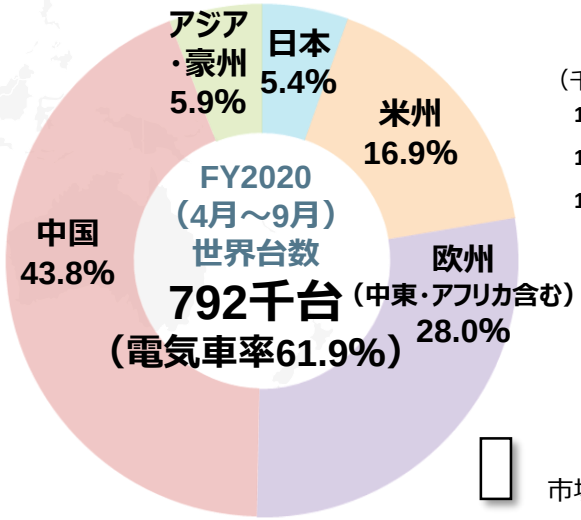


欧州（中東・アフリカ含む）

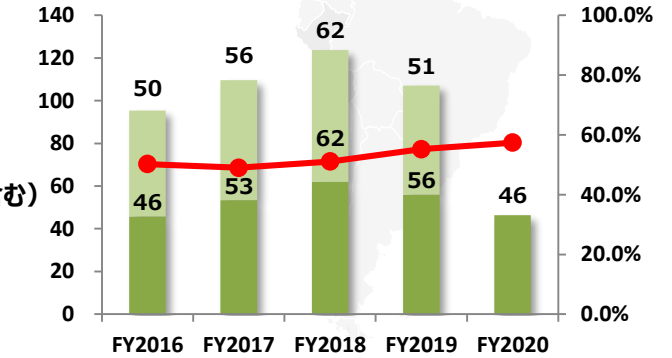


中国





アジア・豪州（南ア含む）



市場台数

電気車率

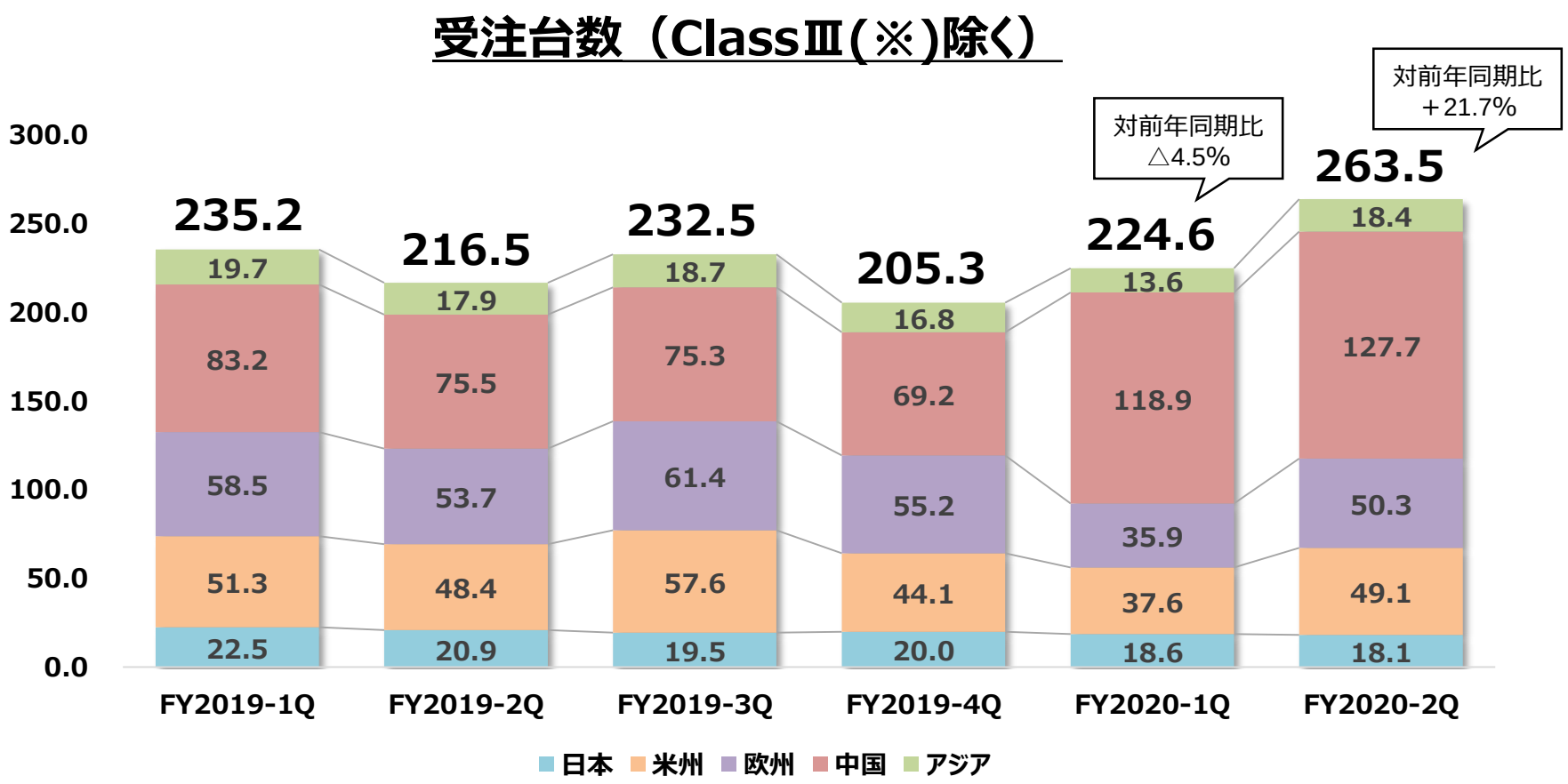
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

【参考資料】フォークリフト市場動向【受注】（4月～9月）

Logisnext

- 6月以降、経済活動の再開に伴い受注動向は回復の兆しを示している（前年比+21.7%の263千台・中国市場を除くと同△3.6%の136千台 ）。
- 特に、中国市場では4月以降受注が大幅に増加し続けている（前年比+69.0%の128千台）。

（単位：千台）



※ClassⅢ：自走式電動小型リフト

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

中期経営計画　FY2021－FY2023

「Logisnext SolutionS 2023」

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

目次

Logisnext

Ⅰ．現･中期経営計画「Perfect Integration 2020」振り返り
（期間：FY17-FY20)

Ⅱ．新･中期経営計画「Logisnext SolutionS 2023」概要
（期間： FY21-FY23）

Ⅲ．数値計画

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅰ．現・中期経営計画「Perfect Integration 2020」振り返り

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

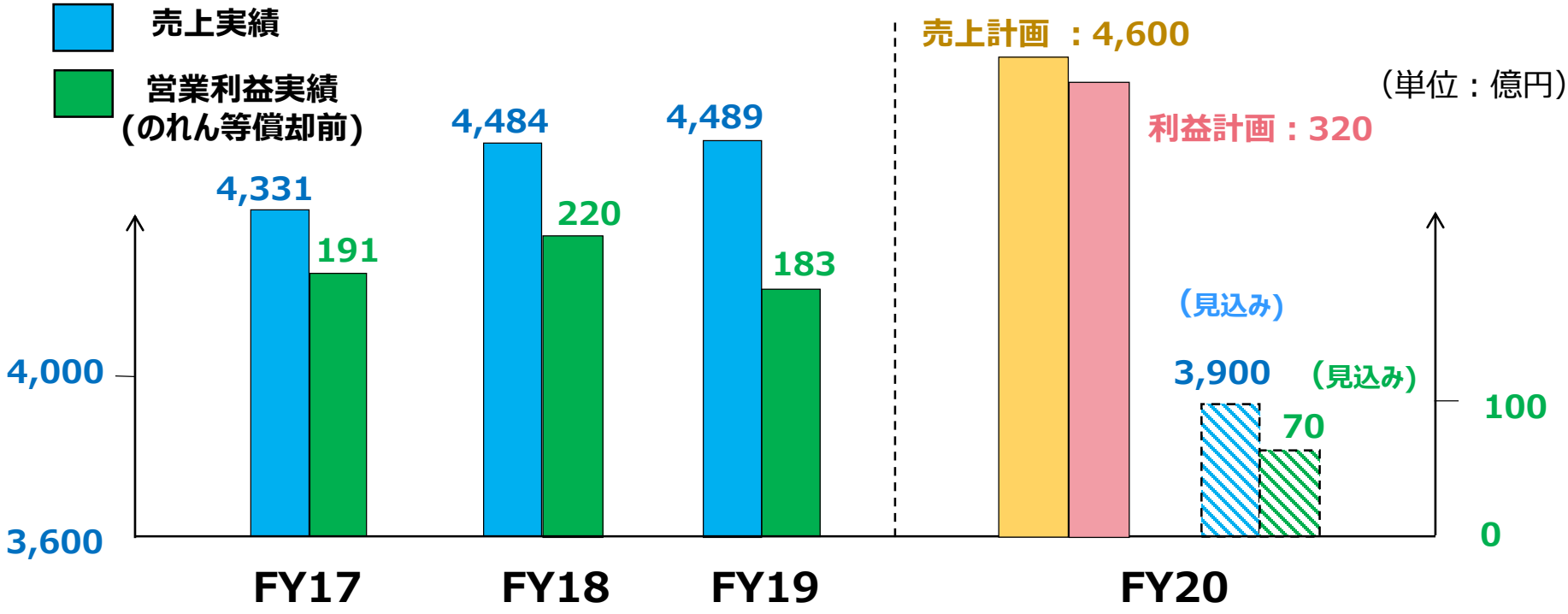
Ⅰ-1「Perfect Integration 2020」の振り返り

Logisnext

基本方針

マルチブランド／グローカル戦略による成長

成長を支える経営基盤の強化



旧ニチユ三菱フォークリフトと旧ユニキャリアの経営統合を見据えて策定した
「Perfect Integration 2020」は米中貿易摩擦・原材料価格高騰など
不透明な政治・経済動向の中、一定の実績は残したが新型コロナウイルスによる
世界経済停滞により大きく目標を下回る結果となる見込み

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅰ-2「Perfect Integration 2020」の振り返り

Logisnext

マルチブランド/グローカル戦略による成長

地域ニーズにマッチした戦略展開

- 国内直系販売会社を11社から9社に再編（20年10月）
- 米（18年4月）欧（18年4月）APAC（17年10月）統括会社設立



電気式フォークリフト開発力の強化

- 統合開発機種「ALESIS」の市場投入（19年11月）



ソリューションビジネスの拡大・先行技術の活用

- レーザー誘導型AGF(※)発売（17年4月）
- 自律走行型搬送機の拡販（20年5月）





※AGF：Auto Guided Forklift

成長を支える経営基盤の強化

サプライチェーンの最適化

- ＜中国＞Hecha社売却（19年4月）優嘉力叉車(安徽)有限公司閉鎖（20年11月末予定）などの再編
- スケールメリットによる原価低減の実現

コーポレート機能の効率化と強化

- 京都本社にコーポレート機能の一本化（17年10月）
- 組織のスリム化による人員削減
- 業務統合による合理化

販売ネットワークの強化

- ＜北米＞Equipment Depot,Inc（以下EQD）買収（19年7月）
- ＜欧州＞ネットワーク強化

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅱ．新・中期経営計画「Logisnext SolutionS 2023」概要

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅱ-1 課題と事業環境

Logisnext

《現・中期経営計画の課題》

販売力の強化
- 販売・ブランド戦略の見直し
- ソリューション事業の展開

環境変化への適応
- 電気車化への対応加速
- 新エネルギー・安全技術開発・デジタル化

統合シナジーの完遂
- 業務統合の更なる推進
- 企業としての一体感醸成

＋

《事業環境》

市場動向
- 経済活動の停滞と予測困難な将来
- 米中貿易摩擦による中国からのサプライチェーンシフト
- 中国/韓国勢の台頭

技術動向
- 環境・新エネルギー対応
- AI、ビッグデータ、5Gの活用拡大
- DX、自動運転実用化

顧客動向
- E-commerceの世界的伸長
- 省人化、無人化
- 安全性の要求

社会情勢
- ESG・SDGs経営への要求
- 脱炭素社会への取組み

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅱ-2「Logisnext SolutionS 2023」コンセプト

Logisnext

当社を取り巻く大きな環境変化や現・中期経営計画の新たな課題を踏まえ
FY21－FY23新・中期経営計画「Logisnext SolutionS 2023」を策定

Logisnext SolutionS 2023

『SolutionS』の最後のSについては、お客様の物流に関わる課題を
解決するSolutionに加え、当社が新・中期経営計画期間で新しい企業文化を
醸成するというSolutionの想いも含めています

基本戦略	企業耐力の強化	成長戦略の推進	ブランド力向上
企業理念	世界のあらゆる物流シーンで、お客様にソリューションを提供し続け、未来創りに貢献する		

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

「Logisnext SolutionS 2023」

企業耐力の強化

- 既存事業の強化
- 固定費・変動費の改善

成長戦略の推進

- ソリューション事業の推進による事業領域拡大
- 販売ネットワーク再編・強化による利益創出
- 市場ニーズを捉えた商品開発によるシェアアップ

ブランド力向上

- “Logisnext”ブランドの活用と認知度向上
- “Logisnext”を核に新しい企業文化の醸成

Ⅱ-4 基本戦略　－企業耐力の強化－

Logisnext

既存事業の強化

各地域での売上と利益の拡大を図るとともに、固定費削減や組織再編により大きな経済変動にも耐えうる力（耐力）を強化

重点施策	日本	米州	欧州	APAC	中国
リース・レンタル・中古車	○	◎	○	○	
サービス事業	◎	◎	○	◎	○
機種統廃合		◎	◎	◎	
生産体制			○		○
業務システム			○		○

◎重点強化　○強化

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅱ-5 基本戦略　－企業耐力の強化－

Logisnext

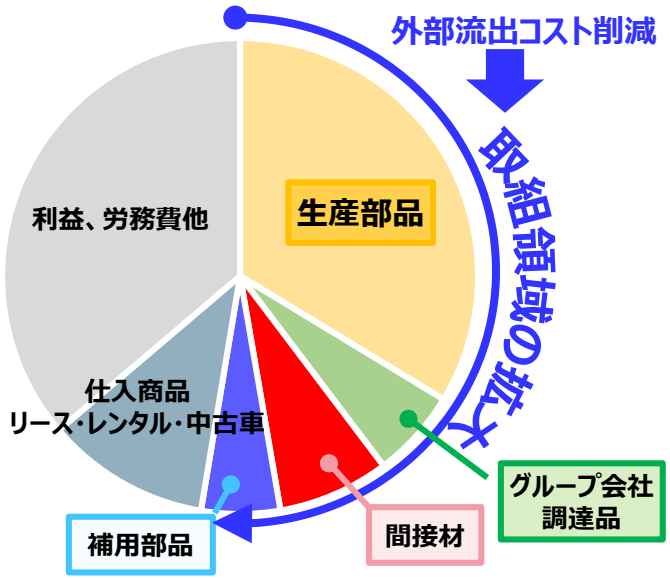
固定費・変動費の改善

■ 調達コストダウン*改善例１ ■ 輸送費削減*改善例２ ■ 部品の内作化 ■ 労務費の削減 等々

【改善例1】

《調達コスト削減》

間接材・補用部品への取組み

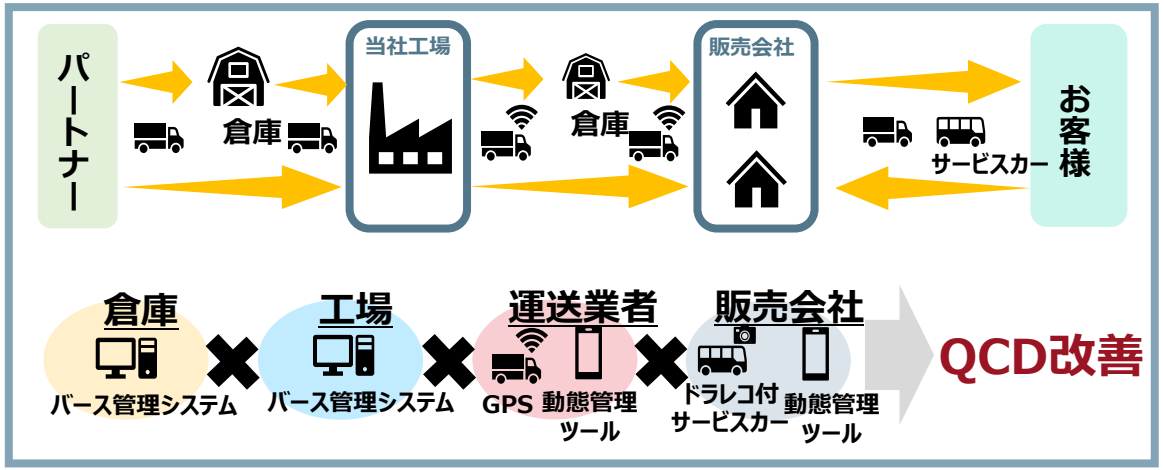


【改善例２】

《輸送費削減》

実証事業を通じ活動を加速

当社「物流MaaS(※)実証事業」概要



FY20 経済産業省主導の「物流MaaS実証事業」に選定

※MaaS：Mobility as a service

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Logisnext

ソリューション事業推進による事業領域の拡大

ソリューション事業でお客様をハード・ソフト両面からサポート
また、当社のソリューション事業で対応できない部分は
三菱重工業との協業あるいは他社とのアライアンス等により最適物流を実現

事業領域

【港湾】



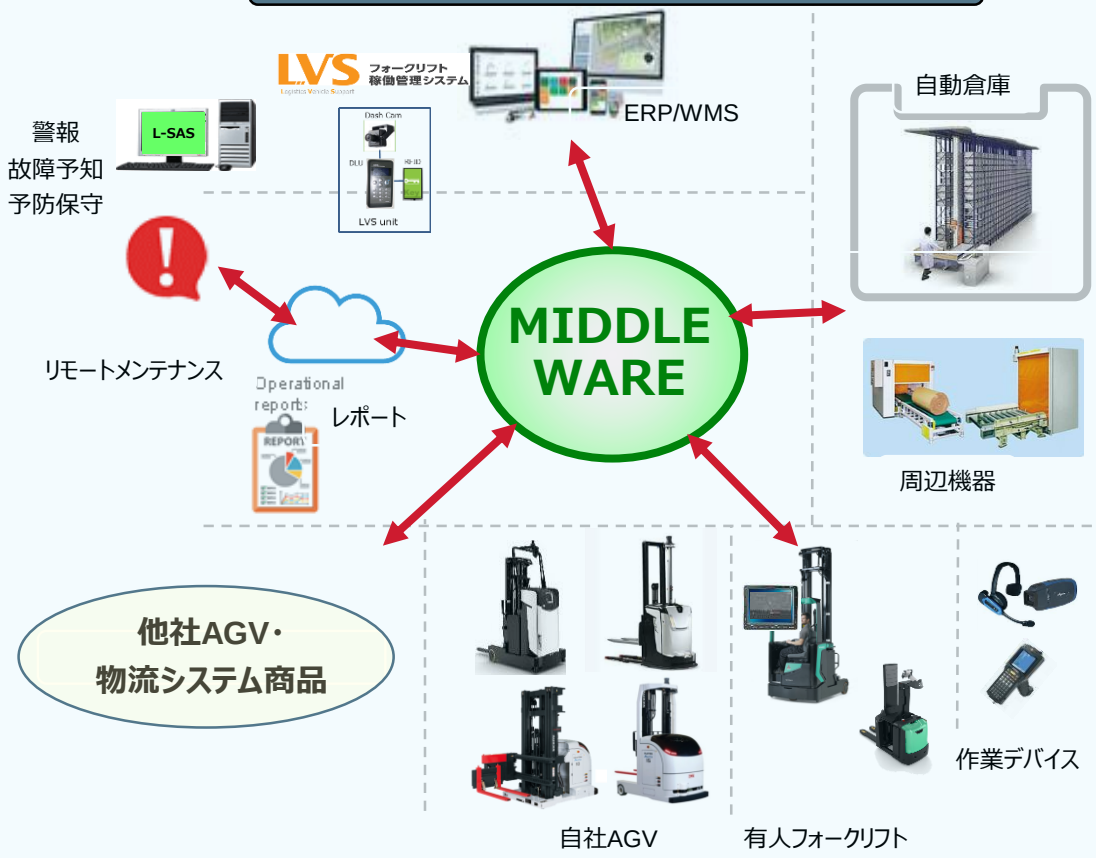
【生産拠点】



【倉庫・小売店】



提供する物流機器・システム



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅱ-7 基本戦略　－成長戦略の推進－

Logisnext

販売ネットワーク再編・強化による利益創出

日本	安定・確実市場	• 直系販社再編によるオペレーションの最適化 • 特殊搬送車両・マテハン商品の売上拡大
米州	最重要市場	• MCFA(※1)社・UCA(※2)社保有の4直販店をEQD社指揮下に再編し、事業拡大・経営改善に着手 • 更なる米国直営カバレッジ率拡大
欧州	維持・情報市場	• 主要国での既存直系販社のテリトリー拡充 • ブランド認知度を踏まえたブランド戦略の実行
APAC	将来期待市場	• 中国からAPAC市場へのサプライチェーンシフトへの対応強化 • 各国の販売体制・ブランドの見直し推進
中国	戦略再構築市場	• 直系含めた販売網の再構築 • 市場ニーズに合致した車種の販売、プロダクトサポート強化

※1 MCFA：Mitsubishi Caterpillar Forklift America Inc.
※2 UCA：Unicarriers Americas Corporation

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅱ-8 基本戦略　－成長戦略の推進－

Logisnext

市場ニーズを捉えた商品開発によるシェアアップ

SEEDS
- 電動システム開発
- ソフトウェア開発
- AGV/AGF開発
- 三菱重工業の先進技術

三菱重工業との協業

NEEDS
- 省エネルギー
- 安全性向上
- 物流の効率化
- 物流の省人化、無人化

商品開発戦略

1．革新的なバッテリ車の開発
2．排出ガス規制対応エンジン車の開発
3．地域別視点での機種の統廃合
4．AGV/AGFを中核とした物流ソリューションの開発
5．テレマティクス商品の事業拡大

技術開発戦略

1．次世代エネルギーへの対応
2．ハード･ソフトを統括するミドルウェアの開発
3．安全性向上機能の拡充

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

（参考資料）物流実験センター（三菱重工業との共同研究）

Logisnext

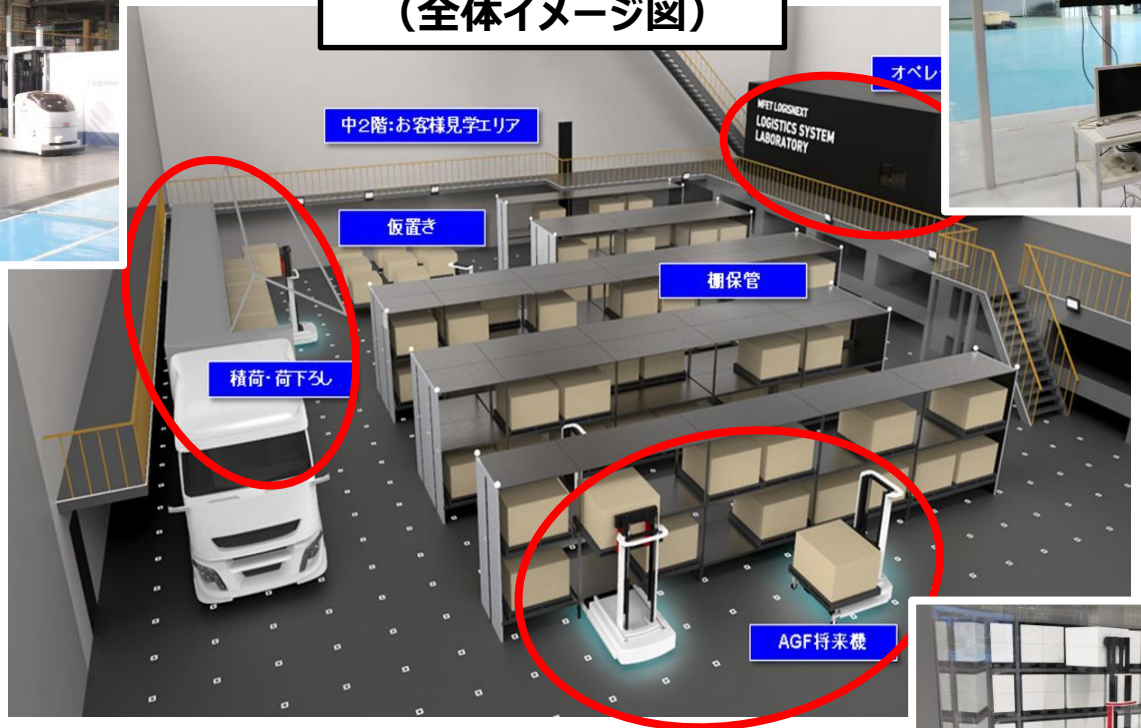
物流自動化の実証モデル検証のため、三菱重工業と共同で物流実験センター（兵庫県高砂市(＊)）を開設し、お客様の自動化ニーズのシミュレーションを行い、ソリューションビジネス拡大を図る

＊：三菱重工業　総合研究所　高砂地区内に設置



トラックへの積込・積降

物流実験センター
（全体イメージ図）





オペレーションルーム

保管棚への積込・積降



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅱ-9 基本戦略　－ブランド力向上－

Logisnext

“Logisnext”ブランドの活用と認知度向上

“Logisnext”を核に新しい企業文化の醸成

現状

- ◆ マルチブランド戦略を進めている中で、地域ごとのブランド戦略が必要
- ◆ “Logisnext”としての企業文化のグループ内浸透度が不十分

目的	アクション	目指すべき姿
“Logisnext”ブランドの活用と認知度向上	ロ ソリューションビジネスのブランド戦略 ロ 地域別のブランド戦略推進	ブランド力の向上
“Logisnext”を核とした新しい企業文化の醸成	ロ グループ人材育成によるエンゲージメント向上、組織力強化 ロ SDGsを意識した経営	持続的成長の原動力

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅱ-10 基本戦略　－ブランド力向上－

Logisnext

《SDGsを意識した経営》
事業活動を通じて地球・社会の持続的発展と未来創りに貢献

当社グループが社会とともに持続的に発展するためのマテリアリティ（重要課題）14項目を特定。事業活動を通じて重点的に取り組むことでSDGsの達成に貢献し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指す





事業活動を通じて重点的に取り組み

SDGsの達成に貢献

持続可能な社会の実現と企業価値の向上

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅲ. 数値計画

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅲ-1 売上・利益計画

Logisnext

企業耐力の強化　**成長戦略の推進**　**ブランド力向上**

1）売上高5,000億円
2）営業利益300億円（のれん等償却前）、営業利益率6%
3）自己資本比率20%以上

（単位：億円）

	FY23計画	FY19実績	増減 <増減率>
売上高	5,000	4,489	+511 <+11.4%>
営業利益(※) （営業利益率）	300 (6%)	183 (4.1%)	+117 <+63.9%> (+1.9ポイント)
自己資本比率	20%以上	14.7%	+5.3ポイント以上

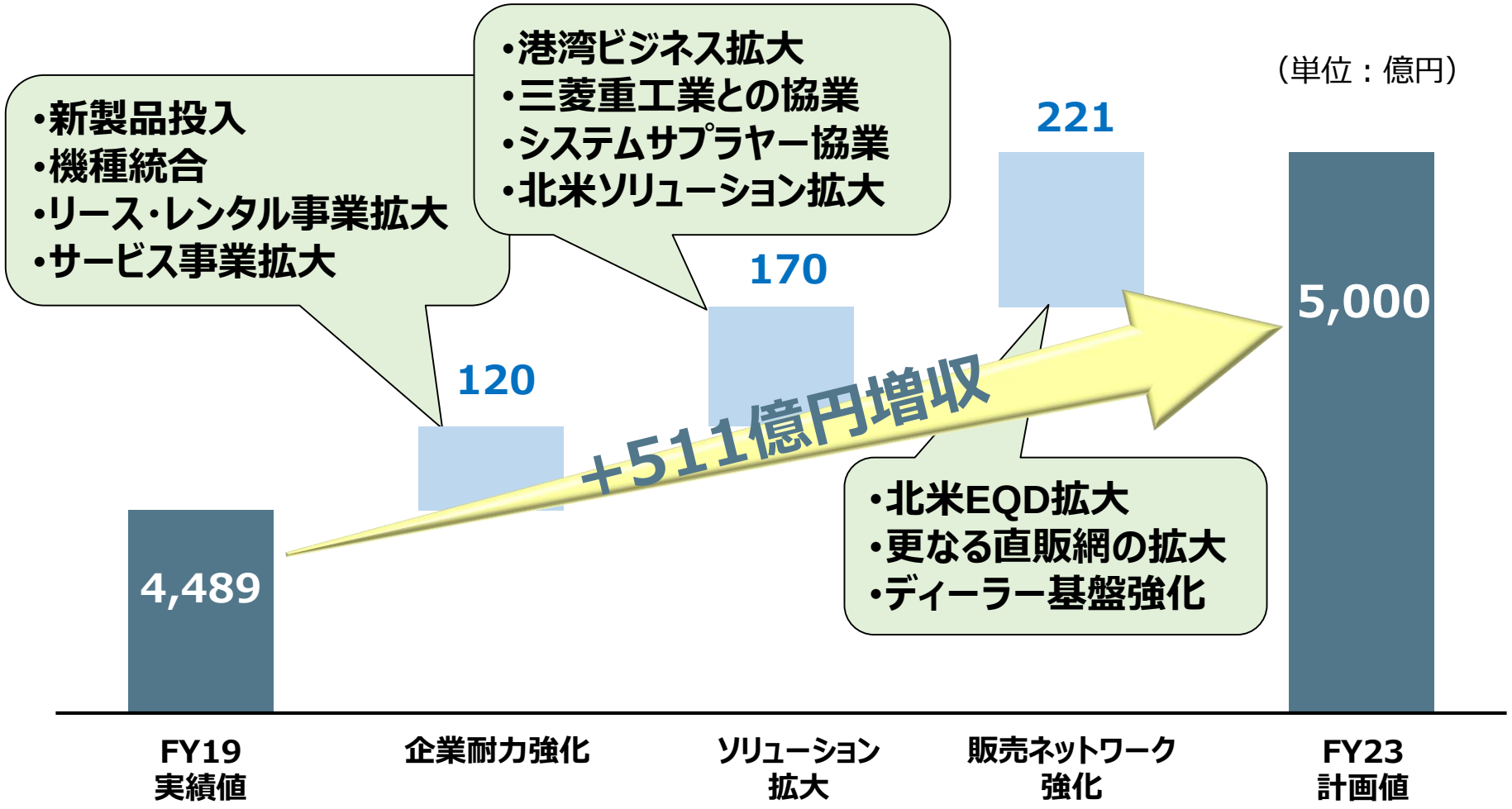
※計画為替レート：105円／USD、120円／EUR

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅲ-2 売上高増減要因（FY19比）

Logisnext

成長戦略の確実な刈取りと組織および大きな経済変動にも耐えうる力（耐力）強化でFY23に『売上高5,000億円』を達成



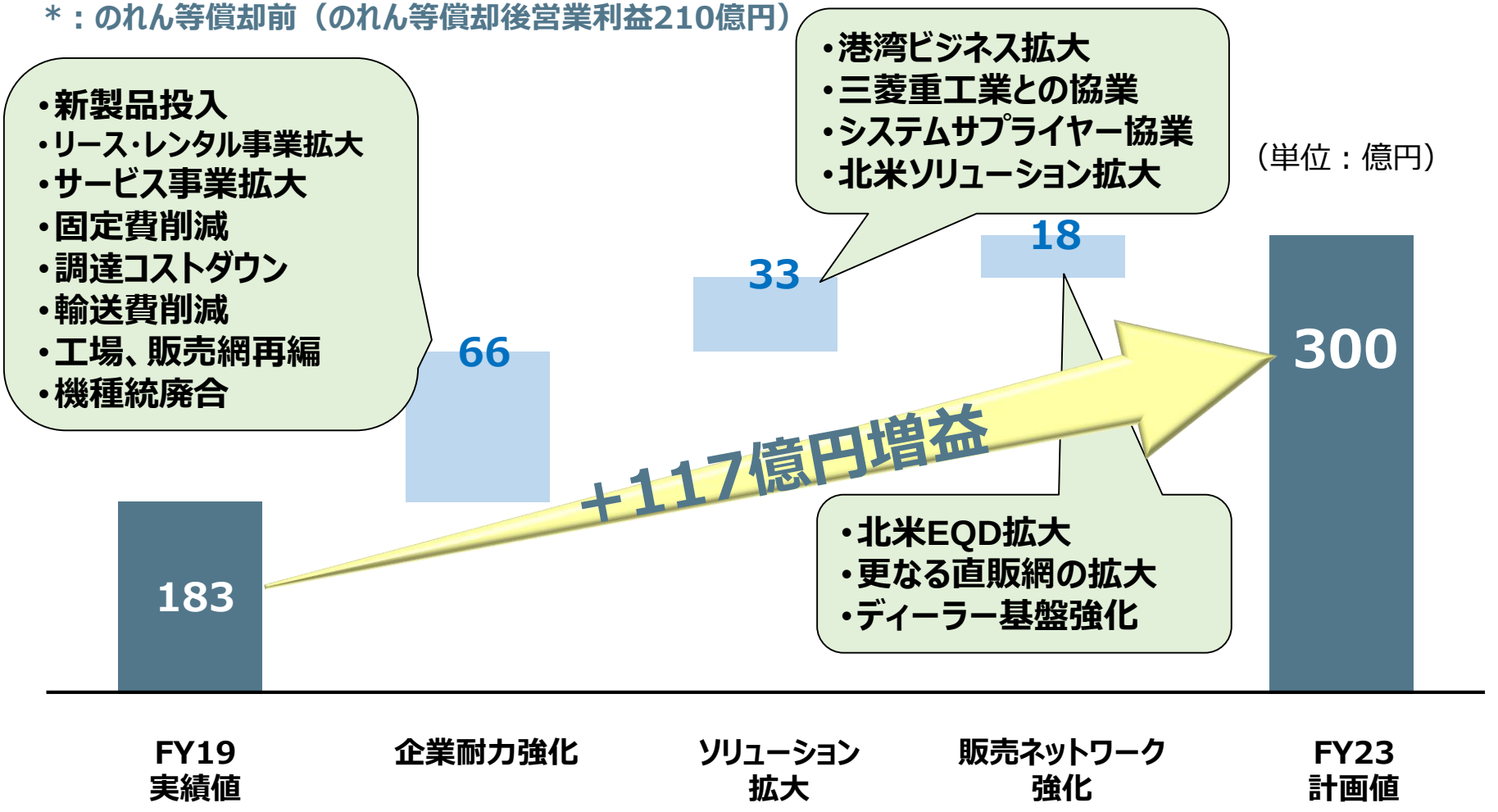
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅲ-3 営業利益増減要因（FY19比）

Logisnext

3つの柱である基本戦略による増益をベースに、FY23に『営業利益300億円(*)（営業利益率6%）』を達成

＊：のれん等償却前（のれん等償却後営業利益210億円）

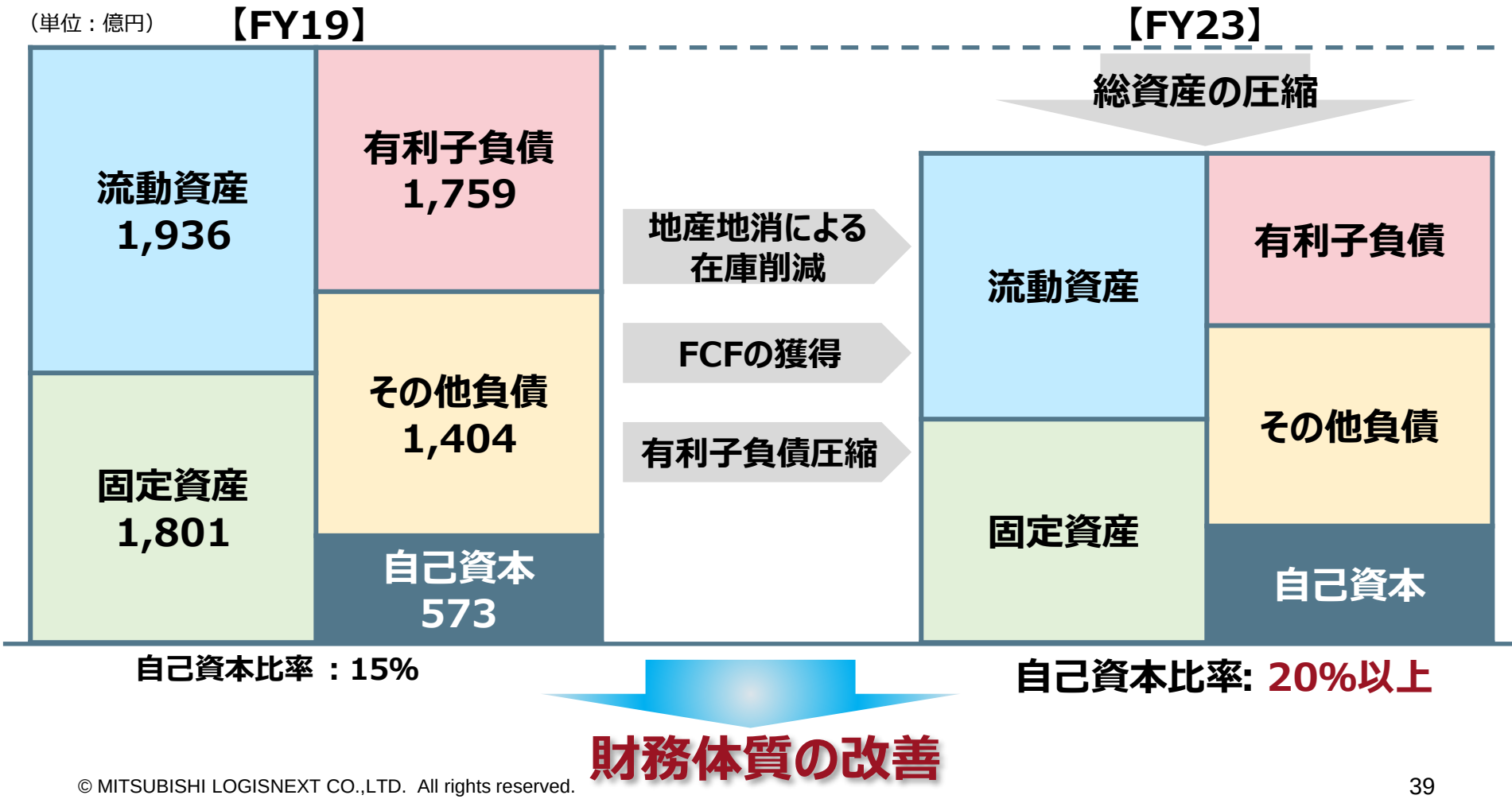


© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅲ-4 財務体質改善

Logisnext

地産地消によるリードタイム短縮（在庫削減）とリース会社との協業による資産効率改善により『自己資本比率20%以上』を達成

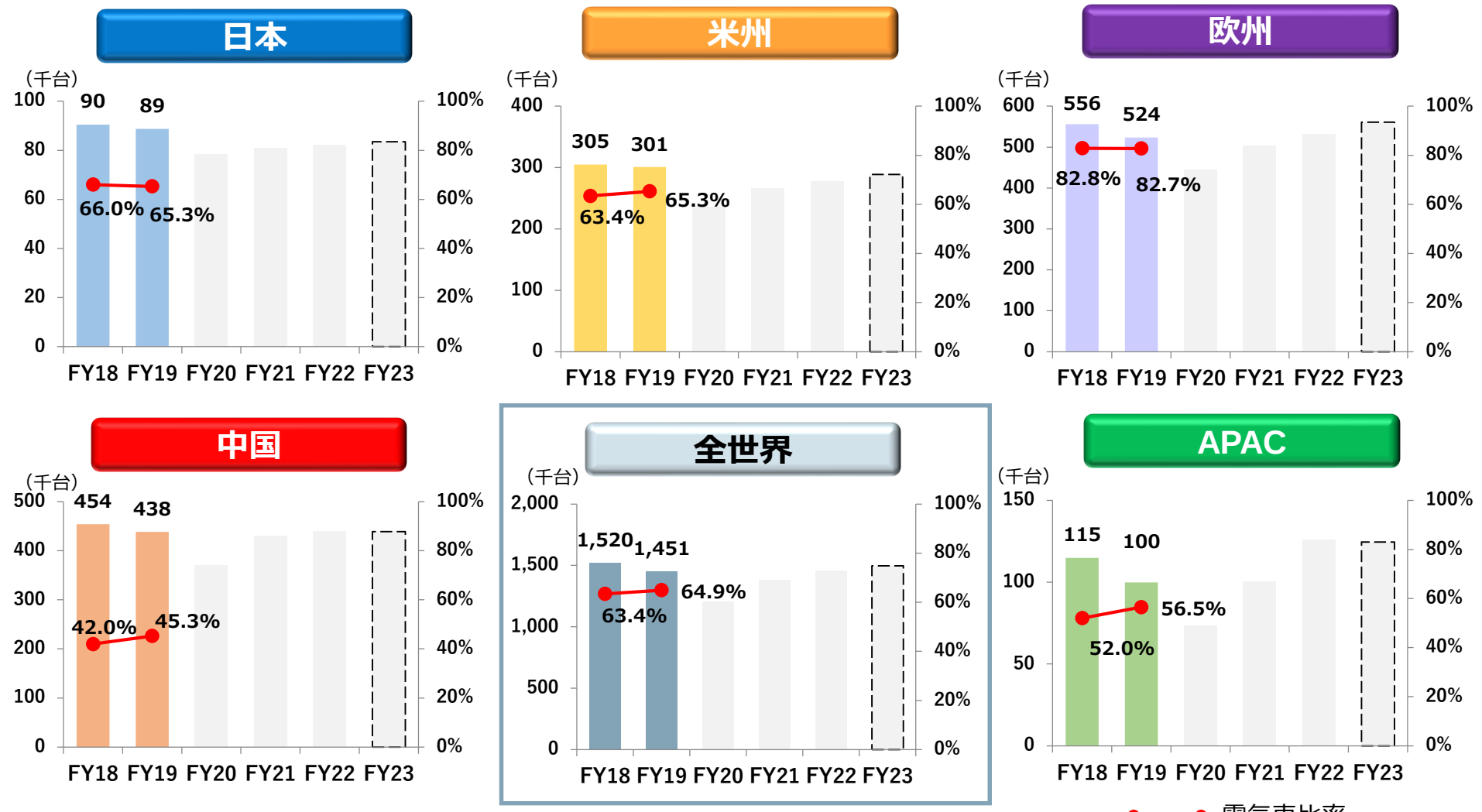


© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

（参考資料） フォークリフト市場予測（当社調べ）

Logisnext

E-Commerceの世界的伸長による物流業界の規模拡大や自動化･自律化物流の加速化等によりFY23にはFY19の全世界市場規模を超えるものと予測



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保障するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社　財務企画部企画課　苅屋・柏木

〒617-8585　京都府長岡京市東神足2-1-1
TEL：075-956-8610　　FAX：075-951-4038
URL：www.logisnext.com

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Logisnext

三菱ロジスネクスト株式会社

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.